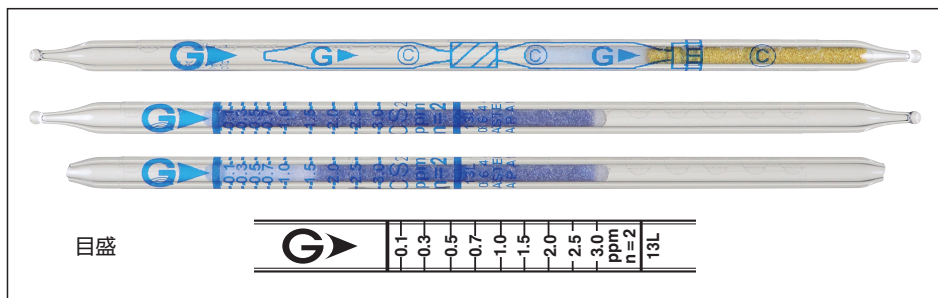


# 二硫化炭素 CS<sub>2</sub>

# No.13L

Carbon disulfide



## 仕 様

測定範囲	0.1 ~ 3.0 ppm	3.0 ~ 8.1 ppm
吸引回数	2回(基準) (200mL)	1回 (100mL)
係 数	1	2.7
測定所要時間	6分	3分

検知限度： 0.05 ppm (2回吸引)

変 色： 青紫色 → 白色

温・湿度補正： 温度 (環境範囲： 温度 0~35℃ 相対湿度 0~90%)

有効期間： 36 か月

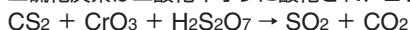
変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 =  $\sigma$  : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

## 反応原理

二硫化炭素は二酸化イオウに酸化され、ヨウ素でんぷん反応により脱色し、白色を呈する。



## 干渉ガス

ガ ス 名	共存濃度	干 渉	単独の場合
クロロホルム	150ppm以上	+	白色に変色
四塩化炭素	50ppm以上	+	白色に変色
o-ジクロロベンゼン	20ppm	影響しない	20ppmまで変色しない
ジクロロメタン	100ppm以上	+	白色に変色
テトラクロロエチレン	80ppm以上	+	白色に変色
トリクロロエチレン	10ppm以上	+	白色に変色
硫化水素	50ppm以上	+	50ppmまで変色しない
アセトン	750ppm	影響しない	変色しない
酢酸エチル	200ppm	影響しない	変色しない
トルエン	40ppm	影響しない	変色しない
n-ヘキサン	100ppm	影響しない	変色しない
メタノール	300ppm	影響しない	変色しない
メチルエチルケトン	250ppm	影響しない	変色しない

## 校正用ガス

パーミエーションチューブ法